



2022年11月15日

三井化学株式会社

## 三井化学、研究開発 DX を加速する「デジタルサイエンスラボ™」を開設

三井化学株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：橋本 修）は、計算科学、データサイエンス、ハイパフォーマンスコンピューティングを融合したデジタルサイエンスによる研究開発 DX（デジタルトランスフォーメーション）を更に加速させるため、1,000名を超える研究者が1か所に集結し、研究開発拠点として国内化学企業屈指の規模を誇る「知の集積地」である当社袖ヶ浦センター内に研究新棟「デジタルサイエンスラボ™」を開設することを決定しました。

三井化学は本年4月より長期経営計画「VISION2030」を始動させ、「地球環境との調和の中で、材料・物質の革新と創出を通して高品質の製品とサービスを顧客に提供し、もって広く社会に貢献する」ことを企業グループ理念として掲げ、事業活動を通じた社会課題解決への取り組みを進めていきます。

### 【デジタルサイエンスラボ™ 概要】

正式名称	デジタルサイエンスラボ™（英語表記 Digital Science Lab.™）
所在地	千葉県袖ヶ浦市「三井化学 袖ヶ浦センター」内
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 研究開発部門および生産・技術部門のデジタルサイエンスの専門家、エキスパート人材を集結させ、当社研究者と交流することでシナジーを発揮させ研究開発 DX を加速させる</li><li>➤ 社外の方も来て頂けるプロジェクトルームを設置し、最先端デジタルコミュニケーションツールを導入することで、遠隔地とのリモートによるシームレスな共創を実現し、オープンイノベーションを促進する</li></ul>
本施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ デジタルサイエンスの基盤として、総演算性能（倍精度理論最高値）PetaFLOPS 級マルチアーキテクチャのハイパフォーマンスコンピューティング環境を構築する</li><li>➤ 太陽光発電設備、Low-E 複層ガラス、高効率空調、BEMS（Building and Energy Management System）他を導入し、環境に配慮したサステナブルな次世代型研究施設とする</li><li>➤ 施設アイデンティティを表現するロゴを作成（商標登録中）</li></ul>
投資額	約50億円
スケジュール	23年6月着工、24年10月完工、24年10月供用開始



**Digital Science Lab.**



施設外観イメージ



袖ヶ浦センター全景

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL : 03-6253-2100

お問合せフォーム : [https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc\\_pr\\_csr\\_ja](https://form.mitsuichemicals.com/corporate/cc_pr_csr_ja)